

富山高等専門学校は、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーの3つのポリシーに則しつつ、全学レベル、学科レベル、科目レベルで教育成果、学修成果を科目平均点、卒業率、進路状況、各種アンケート結果等の各種情報を用いて点検・評価します。

点検・評価は教学IR室で行われ、その結果は自己点検評価委員会においてマネジメントレビューされ、改善すべき事項が決定されます。自己点検評価委員会から各部署に改善依頼が出され、本校の教育の継続的改善を行います。アセスメントプランや3つのポリシーについても社会の状況に鑑み、継続的な見直しを行います。

また、本アセスメントプランを公表することにより、学生・保護者、入学希望者、社会に対して教育の可視化を行い教育の質保証に努めます。

ディプロマポリシー		
DP1：国内外の実社会で活用できる科学的基礎知識とリベラルアーツを身に付けている。 DP2：専門基盤知識を修得し、実験・実習および演習・実技を通してその知識を社会実装に応用・実践できる。 DP3：AI・データサイエンスに関する情報科学の素養とビジネスの視点を身に付け、新たな価値の創造に挑戦できる。 DP4：自分の意見を論理的に表現し、周囲と理解・尊重しあうコミュニケーション力を身に付けている。		
番号	【教育成果の検証】	評価の根拠資料
1	DP1について、一般教養科目の平均点から教育成果が認められるか。	1 一般教養科目、専門科目、データサイエンス・AIに関する科目、分野横断能力育成に関する科目の平均点
2	DP2について、専門科目の平均点から教育成果が認められるか。	
3	DP3について、DS教育プログラム及びそれに関連する科目の平均点から教育成果が認められるか。	
4	DP4について、分野横断的能力育成マップに示された科目の平均点から教育成果が認められるか。	
5	DP全体について、卒業率、進路状況、就職・進学先の外部評価から教育成果が認められるか。	1 進路状況 2 進路先からの評価 3 卒業率
【学修成果の検証】		
6	DPについて、卒業時アンケート、卒業後アンケートから学修成果（学生自身の達成度）は認められるか。	1 卒業時アンケート 2 卒業後アンケート
【満足度】		
7	本校の教育に対する満足度について、卒業時アンケート、保護者からの意見、その他第三者からの意見を総合して十分なものか。	1 卒業時アンケート 2 卒業後アンケート 3 保護者会の意見 4 後援会の意見 5 第三者からの意見
【その他】		
8	インターンシップ参加状況、留学プログラム参加状況、資格取得状況、クラブ・同好会加入率等から、これらの取組が学修目標達成に寄与しているか。	1 インターンシップ参加状況 2 留学プログラム参加状況 3 資格取得状況 4 クラブ・同好会加入率
【総合】		
9	以上の評価を総合して、学生はDPに掲げた力を身に付けていると判断できるか。	—
10	総合的な判断や社会の状況から、DPの見直しが必要か。	—

## カリキュラムポリシー

### 【教育課程編成の方針】

ディプロマポリシーに掲げる4つの能力を学修するため、低学年では一般教養科目に重点を置き、学年進行により専門科目に重点を置く楔形の5年一貫教育課程を編成する。ディプロマポリシー1, 2, 4の具体的内容は、高専機構モデルコアカリキュラムで示される高専生が備えるべき能力、「基礎的能力」、「分野別専門能力」及び「分野横断的能力」に準拠して学科毎に定める。ディプロマポリシー3については、本校全学生が身に付ける素養と位置付け、全学科共通の科目を配置する。

### 【教育・学習方法に関する方針】（学科共通）

- 1 アクティブラーニングを取り込んだ科目を多数配置し、学生が主体的に学ぶ姿勢を身に付けさせる。
  - 2 実験・実習・演習を重視した教育により座学で学んだ知識を応用・実践できる能力を身に付けさせる。
  - 3 地域、企業等と連携した実践的な教育を取り込む。
  - 4 留学、インターンシップ等のプログラムを充実させ、学生が個々の資質・能力を伸ばす機会を与える。
- また、教員間の連携とFD/SD活動により教育内容・方法の改善に努める。

### 【学習成果の評価の方針】（学科共通）

各科目の到達目標、ルーブリック、教育方法、授業計画、評価方法をwebシラバスにより公開し、到達度を客観的に評価する。

		評価の根拠資料
11	教育課程編成の方針について、全学科がカリキュラムポリシー（CP）に沿った適切な授業科目を体系的に配置しているか。	1 学修・教育到達目標（DP）に対するカリキュラムマップ 2 モデルコアカリキュラムに対するカリキュラムマップ、学科ごとのMCC紐付け対応表
12	webシラバスが公開されているか。	1 webシラバス
13	教育・学修方法に関する方針に沿った授業が展開されているか。（アクティブラーニング、ポートフォリオ）	1 アクティブラーニング実施率、ICT活用率、実務経験者担当率 1 取得単位確認シート
14	教育・学修方法に関する方針に沿った授業が展開されているか。（実験・実習・演習を重視した教育）	1 座学、演習、実験・実習の配置率
15	教育・学修方法に関する方針に沿った授業が展開されているか。（地域、企業等と連携した実践的な教育）	1 Ti-TEAM成果物
16	教育・学修方法に関する方針に沿った授業が展開されているか。（留学、インターンシップ等のプログラムを充実）	1 留学プログラムと参加状況 2 インターンシップ単位認定状況
17	その他教育・学修方法に関する方針について、他学科の授業科目認定、専攻科教育との連携、外国語の基礎能力、他機関との単位互換、資格取得に関する教育、最先端技術教育、その他同方針に沿った取り組みがなされているか。	1 外国語の基礎能力育成の取組、TOEIC 2 専攻科教育との連携が分かる資料 3 外部単位認定状況
18	教育のレベルは適正か。	1 在学生の成績 2 授業アンケート 3 原級留置率、退学率 4 学修状況アンケート（学習時間）
19	教員間の連携とFD/SD活動により教育内容・方法の改善に努めているか。	1 FD研修会開催内容 2 FD研修会参加率・アンケート結果 3 FD委員会議事要旨

20	教員の教育研究能力は十分か.	1 教員の学位取得状況
		2 専門教員の学修総まとめ科目担当認定状況
		3 教員間のピアレビュー
21	学修成果の評価は方針に沿って行われているか.	1 教員の自己評価
		2 意見申し立て
【達成度・満足度】		
22	本校の教育に対する達成度・満足度について、学修状況アンケート、施設・設備に関するアンケートの結果から、十分であると判断できるか.	1 学修状況アンケート（達成度・満足度）
		2 授業改善に関するアンケート
		3 施設・設備に関するアンケート
【総合】		
23	以上の評価を総合して、CPに沿った教育が行われていることが認められるか.	—
24	現在の評価結果からCPの見直しは必要か.	—

#### アドミッションポリシー

富山高等専門学校は、次の3つを教育理念としています。

(1)専門知識・技術を有し、将来、研究開発やビジネスをリードする能力を有した人材の育成。（創意・創造）

(2)自ら考え、主張し、行動する主体性を有した人材の育成。（自主・自律）

(3)豊かな教養と倫理観を有し、他者や地球との共生の精神を有した人材の育成。（共存・共生）

本校ではこの理念に基づいて、①中学までに基礎的な知識・技能を修得し、②自分の考えや判断を他者に伝える表現力を持ち、

③主体的に他者と協働できる人を求めています。

		評価の根拠資料
25	実際に入学した学生が、APに沿っているか.	1 合格者の内申点、学力試験の成績（全国高専ベンチマーク）、過去数年の入試倍率（推薦、学力、全体）
		2 基礎学力確認試験結果
		3 アドミッション・ポリシーに関するアンケート
26	過去5年間の学科ごとの入学定員に対する実入学者数が適正（0.7-1.3倍）であるか。（過去5年間で、実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況にある場合は改善が必要）	1 【様式2-2】平均入学定員充足率計算表
27	現在の評価結果から学校全体のAPの見直しは必要か.	—

#### アセスメントプラン

		評価の根拠資料
28	現在のアセスメントプランの見直しは必要か.	—